

★頭痛相談支援プログラム導入 研究実施のお知らせ★

研究責任者：伊藤 達也

研究機関名 和歌山県立医科大学薬学部
(所属) 医療情報薬学研究室

研究課題「薬局での頭痛相談支援プログラムの導入が薬剤師の知識・態度・自信に与える影響：単群前後比較試験」

この薬局では、薬剤師による頭痛相談体制をより良くするための研究を実施しています。本研究は和歌山県立医科大学 倫理審査委員会において、研究実施の適否について、倫理的配慮、科学的及び医学的妥当性の観点から審査を受け、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

本研究は**保険薬局に勤務する薬剤師**を対象に実施します。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は頭痛に関するオンライン研修と、頭痛相談ツールを4週間実務で運用する教育的介入を行うことによる薬剤師の知識・態度・自信（KAC）への影響を検証し、保険薬局における頭痛支援支援プログラムの実用性と教育的有用性を明らかにすることを目的としています。

薬剤師が事前オンライン研修を受講後、4週間ツールを用いて服薬指導を行い、導入前後で頭痛や頭痛指導に関する知識・態度・自信のスコア変化を調査します。患者さまはチェックリストや解説資材を受け取るのみで、**服薬指導の流れや費用に変更はありません**。

研究実施期間は、研究機関の長による研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日です。

3. 外部への情報の提供

集計・解析した結果は学会発表や論文として公表する場合がありますが、個人が特定される形で外部に提供されることはありません。また、取得するのは薬剤師のアンケート結果と12週間後の頭痛相談ツールの継続率、および解説資材の配布枚数のみで、**患者さまの個人情報・診療情報は一切取得いたしません**。

4. 研究の実施体制

【共同研究機関】

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野

研究責任者：特定教授 岡田浩

5. 研究に関する利益相反について

和歌山県立医科大学は、病気の予防や診断、治療の開発をすることで社会の健康・福祉の向上に寄与することを目指して、研究を積極的に行っています。そのための資金は、国からの研究費の助成などの他に、企業や財団（資金提供者）からの寄付や契約でまかなわれることがあり、産学の連携は大学の運営には不可欠になっています。そのような場合、研究者には、医療従事者として患者さんを含めた社会に対する責任と、資金提供者に対する経済的な利害関係のふたつが生じます。研究者におけるこのような状態を、利益相反状態と呼びます。和歌山県立医科大学では、研究をはじめめる前には「利益相反マネジメント委員会」で審査し、研究の許可を出しています。

なお、この研究では、利益相反は一切ないことが認められた上で、研究をはじめています。

6. お問い合わせ

【研究代表機関の問い合わせ先】

和歌山県立医科大学薬学部 社会・薬局薬学研究室

担当者：石原 康裕

電話：073-488-1843

E-mail：p2230009@wakayama-med.ac.jp

【共同研究機関の問い合わせ先】

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野

担当者：岡田 浩

電話：090-1922-8006

E-mail：okada.hiroshi.28z@kyoto-u.jp